

若者円卓会議

図 連携推進課 ☎ 43-7510

福祉部会では、助け合いの仕組みをつくり、暮らしのちょっとした困りごとを解決することをテーマに活動しています。

最初は福祉に対して「難しそう」「専門でないと立ち入れない」という声もありました。でも、福祉を専門の人しか関われないものにしてしまったら、課題がもっと見えなくなるのではないかな。そこで、誰もが気軽に語れる福祉を考え始めました。

例えば「高所に登れなくて電球が換えられない」「文字を書けない」など、できる人にとっては「そんなこと？」と感じるような些細な困りごとのせいで生活に大きな支障が出てことがあります。そういう日常のちょっとした困りごとが重なり、周囲に見守って助けてくれる人がいない場合、最終的な受け皿は福祉機関。でも、受け止められる数には限りがあります。そこで考えたのは「誰かの得意なこと」と「誰かの困りごと」をマッチングし、気軽に助け合える関係性を作れないかということ。誰もが得意なことを持っていて、それは誰かの役に立つ。困ったときは助けてもらい、得意なことを活かして誰かを助ける。そして、そんな関係を誰もが築けるように「人と関わること」に前向きな空気をつくり、自



vol. 5

福祉部会について

地域プロジェクトマネージャー
國重 咲季 くにしげ さき



分が困っている状況にあることを認識して「助けて！」と言える。このように、近代化してゆく社会のなかで、“心を溶かす”働きかけができないかと思っています。

そこで「あんべわりいマーケット」を開催することになりました。市民から事前に回収した「あんべわりい（＝ちょっとした困りごと）」を、誰かの得意なことで解決するイベント。様々な企画を体験しながら、「誰かの役に立つって楽しい！」や「助け合うって気軽にできる」と思えるような仕組みづくりに繋がりたいと思っています。人と関わることは面倒かもしれない。けれど、それでしか得られない喜びや発見があるはず。2万人という程よいサイズの地域だからこそできる、ゆるいコミュニティでの助け合いを模索したいと思っています。



▲あんべわりいマーケットの詳細は11ページにて確認ください。

円卓会議委員募集中！

右のQRコードから公式LINEに登録し、ご連絡ください。



一般社団法人鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会
事務局次長兼主任研究員
おのの まれかず
大野 希一 さん

鳥海山・飛島ジオパーククリレーコラム ～日本海と大地がつくる水と命の循環～ vol. 129

『自然災害伝承碑からのメッセージー庄内地震』

庄内地方は、江戸時代以降3回の地震に見舞われています。一つは1804年に発生した象潟地震ですが、それ以降も1833年と1894年に強い地震が発生しています。これらのうち、1894年に発生した地震は庄内地震と呼ばれています。

庄内地震は1894年10月22日17時35分頃に発生しました。地震の規模を示すマグニチュードは7.0で、飯森山が崩壊したほか、海岸沿い（浜中）で3メートルほど地盤が盛り上がった、という記録が残っています。酒田町（当時）だけで3,300以上の家屋が全壊する、という大惨事になった理由の一つは火事でした。石油ランプが各家庭に普及し始めた頃で、夕飯の準備をしていたところを地震が襲ったため、各所で火事

が発生したとされています。液状化現象も広域で発生し、船問屋や米倉、港などが大きな被害を受けました。この地震が起こる3カ月前に日清戦争が勃発したこともあり、政府からの援助は手薄でしたが、全国からの義援金や本間家を含む地元の有力者の支援によって、復興作業がすすめられました。

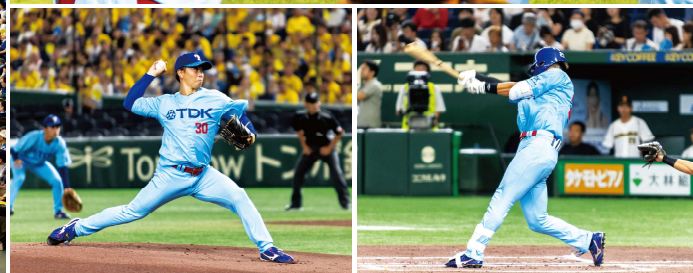
酒田市の日和山公園内にある「甲午震災記念碑」は、庄内地震の被害を後世に伝え、防災の心構えを促すことを目的に1900年に建立されたものです。将来起こるであろう地震への備えに対するヒントがここに記されています。



▲「甲午震災記念碑」。2021年3月に国土地理院の自然災害伝承碑に登録されました。

ホームラン2発もあと一歩及ばず！ 第96回都市対抗野球大会・TDK硬式野球部

8月28日から9月8日にかけて、東京ドームで第96回都市対抗野球大会が行われ、本市代表TDK硬式野球部が出場しました。8月30日の1回戦、東京都第1代表の鷺宮製作所と激突したTDK硬式野球部は2回、日本製紙石巻からの補強選手である水野選手のソロホームランで先制。しかし、鷺宮製作所の強力打線に逆転を許し2-5でリードされたまま最終回に突入。代打の打川選手が豪快なツーランホームランを放ち4-5とするもあと一歩及ばず、第93回大会以来の初戦突破はなりませんでした。



▲右上：豪快なツーランを放った打川選手。左下：スタンドを埋めつくす大応援団。中央：先発の小島投手。右下：水野選手（補強選手・日本製紙石巻）のソロホームラン

秋田マテリアル株式会社 最優秀賞を受賞！！

ー健康秋田いきいきアクション大賞ー

秋田県健康づくり県民運動推進協議会が主催する健康寿命日本一を目指す「健康秋田いきいきアクション大賞」において、本市の秋田マテリアル株式会社が最優秀賞を受賞しました。同社は「BE HAPPYの実現へ『健康経営』で目指すこと」をテーマに社員の健康維持を推進しているほか、独自のスポーツイベントの企画や地域イベント等におけるボランティア活動により、社員の家族を交えたコミュニケーションを図っていることなどが評価され、このたび最優秀賞を受賞されました。



◀プレゼンを行った齋藤七星さん（右）と三浦力也代表取締役社長（左）

各種大会結果

アジアジュニア選手権

▷ローイング競技4人乗りチーム／③小松煌（横根・本荘高校端艇部）

東日本都道府県小学生陸上競技交流会

▷女子走高跳び／①池田千瀬（金浦小）1m25

その他

8月26日、大阪関西万博においてリベリアナショナルデーが開催され、本市から仁賀保高校生5人と酒田南高校ダンス部員兼J☆Keylitsメンバーおよび指導者6人が参加しました。仁賀保高校生は、リベリア共和国

と本市との交流の経緯や仁賀保高校で行った交流事業を英語でスピーチ、またダンスメンバーはリベリアの伝統舞踊団とのパレードやステージパフォーマンスを披露しました。参加した生徒たちにとって、世界への見聞を広げ、交流を深める貴重な体験となりました。



リベリア伝統舞踊団と記念撮影



仁賀保高校生によるスピーチ